

【資料4】 大田区の環境（案）～令和3年度大田区環境基本計画に基づく実績報告の要点～

	取組の方向性	個別施策	事業概要	令和3年度実績(新たな取組)
基本目標A 環境と産業の調和の実現と好循環の創出	A-5 産業分野の取組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備	(1)事業者・行政の連携強化 ②事業者・行政の連携強化	産業分野の取組みの推進エンジンとなる産官の連携体制を整備し、事業者と行政が一体となって取組みを進めます。	【おおたクールアクション推進連絡会の活動実績】 ○区民運動「おおたクールアクション」の推進および賛同団体間の連携強化を図るため、必要な各種会議を開催しました。 ○賛同団体の活動内容の情報共有を図り、「見える化」を実現するため、令和2年度の各賛同団体の活動報告書を収集しました。 ○区民に向けた普及啓発活動を目的に区民運動「おおたクールアクション」のポスターを賛同団体の事業所や区施設に掲出しました。
基本目標B 快適で安全な暮らしの実現	B-3 美しい都市環境の創造	(1)景観・美観に配慮したまちづくり ②歩きたばこ・路上喫煙対策	区民の生活環境の向上を図ることを目的に、公共の場における歩行(自転車等運転中を含む)喫煙及び吸い殻等のポイ捨てを防止するための区民意識の啓発等総合的な施策の推進並びに、喫煙マナーに関わる問題について必要な措置を講じます。	【区内巡回喫煙マナー啓発・指導業務の実践】 ○蒲田駅及び大森駅周辺で2人2組の喫煙マナー啓発・指導員を配置し、喫煙マナー向上の呼びかけによる巡回を実施しました。(年間359日) ○公衆喫煙所及び苦情箇所周辺において、2人1組で喫煙マナーの周知徹底のための指導・啓発を実施しました。(年間242日) 【公衆喫煙所の整備及び運用】 ○「大田区公衆喫煙所設置等助成要綱」に基づき、民間公衆喫煙所1か所の整備費用を助成しました。
	B-4 自然災害に強いまちづくり	(2)地域分散型エネルギーの確保 ①緊急時のエネルギー確保のための対策の推進	避難所等において、災害発生直後に必要な電力や熱を確保するため、太陽光発電などの再生可能エネルギーや環境負荷の少ない天然ガス等を活用したコージェネレーションシステム、蓄電池等の分散型エネルギーシステムの導入を検討します。 また、導入したシステムを活用し、平常時の電力ピークカット等、エネルギーの効率的な活用を図り、温室効果ガスの削減を図ります。	○小中学校体育館空調に電源自立型GHPを採用し、災害発生後の停電時に使用可能なコンセントを設置しました。参考:小学校計25校・中学校計8校
基本目標C 低炭素社会の構築	C-1 省エネルギー型の行動様式への転換	(2)区役所による率先行動①区の業務から排出される二酸化炭素(CO2)の削減	「地球温暖化対策推進法」に基づく実行計画として策定した「大田区役所エコオフィス推進プラン」を着実に推進し、区の業務から排出される二酸化炭素(CO2)を削減します。	【大田区役所エコオフィス推進プランの取組強化】 ○新築した蒲田清掃事務所において、高効率の省エネ機器や再生可能エネルギー設備の導入などにより基準一次エネルギー消費量から62%削減を実現し、BELS☆5、ZEB Readyの評価を取得しました。
	C-3 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大	(1)区有施設への積極導入 ①区有施設への再生可能エネルギー設備等の導入、エネルギーの効率化・最適化設備の利用促進	区有施設の建設等の際には、再生可能エネルギーや高効率の設備の導入など環境配慮型の施設を検討します。 また、導入したシステムを活用し、平常時の電力ピークカット等、エネルギーの効率的な活用を図り、温室効果ガスの削減を図ります。	○既存区有施設高効率照明導入計画を策定しました。本計画は、大規模改修等を控えた施設を除き、令和5年度から令和12年度までの8年で、区有施設にLED照明を導入する計画となっています。

【資料4】 大田区の環境（案）～令和3年度大田区環境基本計画に基づく実績報告の要点～

	取組の方向性	個別施策	事業概要	令和3年度実績(新たな取組)
基本目標 D 自然共生 社会の構 築	D-1 生物多様性の 社会への浸透	(1)生物多様性の 理解促進 ①生物多様性の普 及啓発	自然観察路調査等を基に、多種多様 な生物が生息できる環境づくりの啓発 を進めます。	○絶滅危惧種である渡り鳥「コアジサシ」の講演会を開催しました。 12月5日(日)参加者100人 ○「コアジサシ」営巣地整備 3月26日(土)参加者50人、3月27日(日)参加者51人
		(1)生物多様性の 理解促進 ②区民体験型の自 然環境調査の実施	今ある貴重な自然を守り、育ててい くために、区内の自然環境や動植物な どの実態や変化を区民等と共に常に 把握し、多様な生き物が息づく緑のま ちづくりに活かしていきます。	○「大田区の身近な生物・植物」をテーマに、生物や植物について専門調査を行うとともに、区民と協働で調査 会を行いました。 [区民参加調査] 10月9日(土)参加者20人
	D-2 人と自然の関 係の再構築	(1)地域による緑 づくりへの支援 ①地域みんなの みどりづくり	18地区のまちの個性を、地域住民の 連帯と協働の象徴として「まちの緑」 で表現するほか、助成制度を活用し た緑の支援を拡充します。	○区民の方が地域の花の育て方などを学ぶ機会として、育成講習会を開催しました。 [特別出張所で開催した育成講習会] 2件 ・入新井特別出張所 ・糞谷特別出張所
		(2)緑を支える仕組 みづくり ①みんなの緑づくり	公園や道路、河川、公共施設など公 共空間にある「みんなの緑」を、地域 や各種団体、企業などの地域力に支 えられながら、区民と共に、守り、育 て、活かす取組みをさらに広げていき ます。	【おおた花街道】 ○活動地区数 9地区、11団体、延べ参加人数3,100人
		(3)野生生物の保 護・管理 ①絶滅のおそれ ある野生生物の調 査	自然観察路調査や生物生息調査を行 い、区内の絶滅危惧種の把握に努 め、保護を呼びかけます。	○区内NPOと連携して絶滅危惧種である渡り鳥「コアジサシ」の観察会や講演会、営巣地整備を実施していま す。観察会では飛来数などの説明や確認を行います。 講演会 12月5日(日)参加者100名 営巣地整備 3月26日(土)参加者50人、3月27日(日)参加者51人
基本目標 E 循環型社 会の構築	E-2 資源循環のま ちづくり	(2)可燃ごみ、不 燃ごみ、粗大ごみ の資源化促進①可 燃ごみ、不燃ごみ、 粗大ごみの資源化 促進	資源の回収方法及び再資源化の手 法を見直すことにより、一般廃棄物に 含まれる金属類以外の資源の有効利 用と環境負荷の低減を図ります。	【大田区分別収集計画の推進】 ○第9期大田区分別収集計画(令和3～6年度)に基づき資源の分別回収を実施しました。 ○令和4年度からプラスチック製容器包装を含む資源プラスチックリサイクル事業を実施予定であることから、 計画を一部改訂しました。
基本目標 F 持続可能 な地域づ くりのた めの学習 と参加の 場の創出	F-1 環境マイン ドを持つ人 材の育成	(2)環境学習・環 境教育の推進 ②環境保全意識の 啓発	幼児から大人までの幅広い世代を対 象にして、地球温暖化対策、自然や 緑の分野をはじめ、循環型社会等 について、パネル展示やイベント開催等 を通じて、環境保全意識の啓発を行 います。	【エコフェスタワンダーランド】 ○子どもを主に、広く区民の環境意識の高揚を図ることを目的として、「オンラインで考える地球の未来」をテー マに、区民・事業者・区が協働して開催するエコフェスタワンダーランドについては、新型コロナウイルス感染症 拡大抑止を目的に非接触型イベントとしてオンライン方式にて開催した。 1 開催期間:2月1日(火)～28日(月) 2 開催場所:特設Webサイト 3 参加実績:利用者1,203人、ページ表示回数4,164件